



本当にいましたね
でも大丈夫
なんすか？

領主さんたってのご依頼
だから仕方ねえんだわ

「森の賢者」なんて言われたエルフだが
今や個体の力は弱まってただの田舎の部族と
違いねえ
まあラクな仕事だわ



人払いのスクロール
詠唱終わりました
直に完全効果になります

ニムケケウ...

ご苦労さん
まあもう少し
様子見だな

キモチー♡

しかし危機感ねえよな
あの見た目でも40年は
生きてるだろうと思うが...
人目のないところに独りとは...
よほどの温室育ちか。



気持ち
よかった



早く帰らないと
皆心配するし長居は
できないけど...

ン...そういえばさつきから
やけに静か...鳥や虫の
声が全然しない...



!!

ほやっしねえで
さっさと睡眠魔法かけるや...

小娘でも魔力の強いエルフだぞ

は、
ハイッ



!!



体に力が...
こんな呆気なく...

おん...!!

人間の男が2人!
エルフ相手にこんな人数
風魔法ですぐ吹き飛ば...

おん...!!

おん...!!

エルフとはいえ戦闘経験がなけりゃ
こんなもんだわなア 得意の魔法も
詠唱させずに距離を詰めりゃ終わりだ

誰も知らない場所だと...
思ったのに...よりによって人間が...
眠い...だめ...だめ...

ガタッ

ここまで来れば
里の耳長どもにも
わからねえだろ…
さて品定めだ

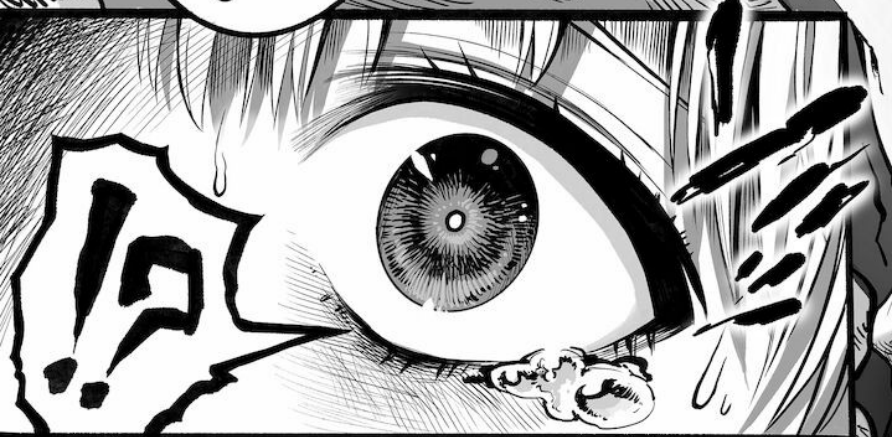
暫く揺られていたのに
まだ体が動かないっ こんな
強力な魔法を人間が？

「養成所」に送るのには
申し分ないクオリティだ
今までで一番かもなア

んー…キレイな顔だ…
イライラするぜ…この金髪
でかい目玉下品な耳
しっかりエルフだな

グイッ

…見てるうちに
俺の頭を焦がしたヤツを
思い出してムカついてきたな…
●●●
味見しておくか。



よオ
何ボサツと
してんだ

お前もこつち来て
検品の目を養えや
コイツ一級品だぞ

ちがつ...!
これは水浴用の
薄手なのに...

下品な服だよなア?
エルフってのは先祖代々
露出狂の種族か?

納品物にこんな事して
大丈夫なんすか?
...脱がしやう

ン?...ああ問題ねえよ
オレの担当分はな...
しかしデケエな!

うはは、

お望みどおり
丸裸にしてやる
よッ...と!

痛い
ッ...!

はるるん

はるるん

はるるん

このままイルダ人と
交わってしまったら
掟を破ることに…

「検品」ということは
おとなしくしてれば商品に
傷は付けない筈…

ここは耐えて
隙をみて首飾りを使って
逃げ出さないと

あー…体は問題ない
かなり高値がつきそうだ

次はコイツの
中身の確認だなア



?

ズッ……

どんな仕事でも
「素直さ」ってのは
大事だよなア？

オレも
一応脱ぐか……

嘘ッ……!!
そんな……「検品」の
ハズじゃ……!!

今この場
で……!!?

逃げる隙を冷静に伺う
ような従順さの欠片もねえ
奴ってコトは耳見りや
わかんだよ……

生意気な耳長には
よオ……心底コイツでモノを
理解^{わか}らせたくないぜ

腕は動かせないけど……
もう首飾りを使わない
と手遅れになる……!!

グン……



いや…でも…

ここで首飾りを
使っても逃げられる
保障がないむしろ

…
まアとりあえず
啜えてみる

一度おとなしく
言うことを
聞いて…

よっと

ひどい…汗と
イルダ人の臭い…
耳も…痛い…!

ふん 意外と従順だな
しっかり啜えるじゃねえか
今までののは必死に抵抗して
面倒だったかな…

おえ

私以外にも
攫われた人達が…
となるとエルフの
扱いはかなり…

でも必ずどこかで
隙を見せるはず

それまでは…!

は…

うん

ぐう

ん

ん

ん

もっと喉奥で
しっかり締め
あげるよ...

カッ
カッ
カッ

イマイチだなア
こうすんだよ...
ど下手クソが!

...なぜ

喉塞がって

息が...できない...

こんなモノみたいにな...

...どうして...

イイ具合だ...

オラッ
射すぞッ

おぎ
ポッ
ポッ
...どうして

こんな
ひどい
こと...

耳長の豚が!
こぼさずしっかり
飲み込めッ!

あーあア...
吐き出しやがって

もったいねーなア
そなんじや「養成所」
でやっていけねえぞ?
ン?おい...ったく...

おは
おは

スッ
スッ
スッ

!!!



バロワズさんの番、終わりですか？

オレ、エルフとやったことないんすよ！

コイツ、お先に試してみちゃって大丈夫ですか？

あ？

え？

今だ…！！

てめエそれが耳長にとつてどうゆうことか判ってんのか…？



うわあ！！

うまく隙をつけた！

猿ぐつわは外れてる…！このまま詠唱を続けて…

うわあ！！

うわあつ！

なんだこの光はツ…！！

ったくよオ…やっぱりか

身の程を知らねエんだよな耳豚はよオ…！！

ズッ





直前で遮ってやった
ろっが...さっさと
捕まえてこいや

は...はいッ...!
すみません! 糞ッ
クニクラする...

早漏のクセに
偉ふりやがって
メンドクせえ

光の矢
射出

オイ! てめエ!
なんの魔法をッ

清風よ...

あッ...
当たっちゃまった!
牽制のつもりが...

ミッ
キッ
キッ

痛いッ

ウアアアア!

なア悪かったよツ
初めての類の仕事
で緊張して手元が
狂っただけ…

俺の獲物に手を出す
ようなヤツにはな
コレが報酬だ…ッ

ひひ、
ひかつ、
光…

トモ・トモ

ありにまて
耳をかく

俺の復讐言の
邪魔をするヤ

じゃああああああ...

オ、おいッ！
そんなもの持ち出して
どうするんすか…！

クンカッ

ガッガッ

ドン

目の前が真っ暗...
耳も利かない...

オイ

エラいぜお前も
逃げてたら捕まえて
あんな風に潰しち
まったかもな

ドン

俺アキしると
我慢ができねー
たちでね

ヒッ

ドン

傷を見せてみる
...よおし...

ドン

グハッ

痛ッ

あーあア...

ダメだなこりやあ
「土囊」確定だ
勿体ねエ

イヤッ

ドン

ま、と悪念に
夢かなにか...

うそ...
こんなの...

ドン

まアいいわ
耳長共を地獄に
墜とせれば
どうでも...

まずはお前を
卒業させてやるよ
じっとしてるや

バッ

ドン



許嫁にやるつもり
だった操だろ？

前の奴は名前まで
呼んで泣きわめいて
ケツサクだったぜ

手に婚姻の墨が
入ってねーだろ…

初めて
なの…

…なんで
知って…

ズッ

ズッ

マジで頭悪イな…
まあ処女かどうかなんぞ
どうでもいい…

どんな形であれ
……
掟破りの傷モンだ
お前は追放されたも
同然だ

ズッ

ズッ

ああ…

前に逃げ帰ったバカは門前払い
の拳句に狂って死んでったぜ！
つくづく冷てエー族だよなアッ！

嘘…襲われただけ
なのに…？

もう私…
帰れないの…？

ズッ

ズッ

ズッ

はア：気に入らねエな
まだ自分に可能性が
あるような目だ

そうだな…

俺だって
不本意だよ

だが言葉じゃ足りない
家畜レベルの低脳民族には
「痛み」を使わないとな

俺もお前の同族に
親兄弟と頭を灼かれた時ア
同じキモチだったぜ…

それによオ

薄汚ねえ血で股ア
汚されて泣きてえのは
こっちの方なんだわ



生意気な態度
とってみろ…今度は
マジでちぎるぞ

もうデメエはこつから
いくら傷つこうが大した
金にならねェんだ…

腹ア潰れるほど
犯し尽くしてやる
覚悟しとけ

無駄だ

ン…ロさえ塞い
じまえばよオ

…この通りだ
精霊には届かない

お得意の魔法も

使えず

オチイイ

自慢の体を蹴られ

ドムッ

ニムッ

貞操を穢され

イムッ

全てを失い

苦悩しろ

何黙ってんだ
豚は豚らしく...

もっと...下品に

オチイッ

未来も尊厳も
しゃぶり尽くされ
てめえらの傲慢を思い知れ...

オチイッ

オチイッ



へっ…全く
良いザマだな

デメエが逃げなければ
アイツも俺に消される事も
なかったんだよなア…

おいデメエ
聞いて…

あ？

…
イテ？

てめエら耳長は…ツ

見苦しく喘いでりや
いいんだよ…オツ

メスは犯し尽くして
カスみたいに売っ払って

オスは殺して…
根絶やしだ…

オラア！
もつと気合入れて
必死に締め上げるや！

首が締められ…
息…ツ

呼吸…ツツ

クソブタ
糞豚がアツ!!!



